

【兵庫県】

現在の景気：足踏み。

3か月程度の見通し：足踏み状態が幾分緩和するとみられている。

個人消費：一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかな持ち直し。2月の百貨店販売は前年比2.3%増と2か月ぶりに増加。営業日数が前年より1日多かったことや一部店舗のセール効果から増加したものの、春物衣料品が振るわず、全体では幾分鈍い動き。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに増加し、全体では前年比31.4%増と5か月連続で増加。

住宅建築：足許減少したものの、底打ちの兆し。2月の住宅着工戸数は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少し、全体では前年比11.5%減と5か月ぶりに減少。

設備投資：持ち直し。日銀短観（3月調査）によると、2012年度の設備投資計画は、非製造業が減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込み、全産業では前年度比3.9%増加。

2月の建築着工床面積（非居住用）は前年比30.2%減少。

公共工事：減少。2月の公共工事請負額は、県、神戸市、神戸市を除く市町などが増加したものの、国、独立行政法人等、その他の団体などが減少し、全体では前年比29.9%減と15か月連続で減少。

輸出：幾分弱含み。2月の県内通関輸出額は、米国向けが増加したものの、アジア向け、EU向けが減少し、全体では前年比1.3%減と3か月連続で減少。

生産活動：幾分弱含み。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比3.0%上昇し2か月連続で上昇。原指数は前年比3.9%上昇。鉄鋼は、国内自動車向けの粗鋼、鋼材が持ち直しているものの、輸出向けが価格の軟化などに伴って減少し、全体では弱含み。一般機械は、原動機、建設機械などを中心に高水準の操業を継続しているものの、一部に生産水準を引き下げる動き。電気機械・電子部品は、鉄道車両向けが高水準の生産を継続、自動車向けはタイの洪水の影響が緩和し持ち直しているものの、家電向けは減産が継続。輸送用機械は、自動車関連が高操業、造船・重機が生産水準を引き下げ。

観光：持ち直し。2月の神戸市内主要10ホテルの客室稼働率は、大型コンベンションが開催されたものの、インバウンドツアーが減少し、全体では前年比0.1%ポイント低下し65.7%。

雇用情勢：依然厳しい状況にあるものの、改善基調。2月の有効求人倍率は前月比0.01ポイント上昇し0.66倍。新規求人数は前年比7.2%増加。

（トピックス）

県の但馬水産事務所によると、2011年度の但馬地域ズワイガニ漁は、総漁獲量が1,402tと前年度比1%減少。マツバガニは漁獲量が増加したものの、大型が少なく単価の低下から、漁獲金額は減少。セコガニとミズガニは漁獲量が減少したものの、単価の上昇から、漁獲金額は増加。ズワイガニ漁は2008年度までの5年間、1,600tを超え、「資源回復の兆し」と歓迎されたが、2009年度は前年度比で約2割減少し、その後は1,400t台で推移。但馬の漁業者はセコガニやミズガニで自主的な漁獲制限をしているものの、資源保護の強化を求める声が強まっている。